



「男性はおしゃべりしない」などの思い込みは愚

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（69）】利用者同士のコミュニケーションは百葉の長

公開日：2019/03/01 (ソサエティ)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム統括施設長）

ある日デイサービスを覗くと、利用者の石丸史郎さん(仮名80歳)は同じテーブルに座っている利用者たちに、大きな声で新聞を読み聞かせていました。



施設のカフェで（里村氏提供）

そして、読み終わると今度は「歌を歌おう」と言われたのです。

もちろん、歌のリードをしたのは石丸さんです。

歌のテンポやキーが外れる人もいますが、皆さんそれを気にすることなく楽しそうでした。

その後、話は昼食のメニューになりました。

「この施設にはメニュー表が置いてないのよね」と、テーブルで紅一点の増井多香子さん(仮名87歳)は呟きました。

そこで、側にいた私に「お昼のメニューを教えて」と、言われたのです。

すぐに調べて伝えると、誰ともなしにメニュー表を作ろうということになりました。

私が紙とマジックをテーブルに置くと、増井さんの指示のもとメニューを書くのは

浜口洋二さん(仮名92歳)の役割になりました。

ところが、なかなかメニュー表は仕上がりにません。浜口さんは字を忘れていたのです。周りの利用者が口頭や指で字を教え、やっと出来上がりました。それをテーブルの真ん中に置いて昼食を召し上がったのです。

利用者の皆さんには認知症がありますが、提供されたサービスを受けるだけでなく、主体的に過ごしている姿に私は感動しました。

そして、ふと周りを見わたすと、利用者はほとんど男性だったことに気付きました。

さらに驚いたことは、男性の年齢が高いことです。半数以上が90歳を超えています。

それだけでなく、これらの男性は話がお好きなのです。

食後、それを知っている介護スタッフは、話好きな利用者に声をかけ、同じテーブルに座ってもらいました。

初めに口火を切ったのは藤山博さん(仮名96歳)です。以前住んでいた地域の歴史について話し始めました。それを受けて参加した銘々が昔話に花を咲かせたのです。

よく聞いていると同じ話の繰り返しなのですが、そんなことはお構いなしに話は続くのです。

私は会話を楽しむ高齢の男性たちの風景をあまり見たことがありませんでした。

そもそも、高齢の男性は無駄話を好まず、ましてや目的もなく集団でおしゃべりをするなどありえないと思い込んでいたのです。

屋谷守さん(仮名95歳)はまさしくそのような人でした。いつも下を向いてポケットに手を入れて椅子に座っています。介護スタッフが話しかけると答えますが、積

極的に他の利用者と交わることはありません。その隣には桐本正さん(仮名89歳)が座っていました。

桐本さんは書くことが好きで何かあればメモを取っています。この二人の特性を知って席を隣同士にしたのは介護スタッフでした。

ところが、桐本さんは持病が悪化し入院をすることになりました。

しばらくしてそれに気づいた屋谷さんは「あのおじさんはどこに行ったのか」と、隣の椅子を指さし何度も介護スタッフに聞いてきたのです。

その上、桐本さんがいなくなってからイライラすることが多くなり、部屋に引きこもるようになりました。

二人は暗黙の内にお互いを認め合い、私たちには想像できない心の交流をしていたのかもしれない。

私は過去の経験から利用者をカテゴライズ(分類)し、ラベリング(ある人や物事に対して、特定の出来事を判断基準として評価を固定する行為)している自分に愕然としました。

性別や年齢、認知症あるなしに関わらず良い人間関係は、生活に張りとうるおいをもたらすのです。そこを理解し、利用者の性格や趣味嗜好などを知って、利用者同士をつなげていくのは大切な介護スタッフの役割です。

すると、利用者はこれまでに培った社会性を発揮し、いぶし銀のような光を放つのです。

その結果、私たちの出番は少なくなり、介護にかかる時間も減少するのです。

(注)個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。この連載は原則として隔週で水曜日に掲載しています。

[続報リクエスト](#)[マイリストに追加](#)

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [米朝会談は合意なし、安倍政権には追い風](#)
- > [米朝合意なし、最大の敗者は文韓国大統領](#)
- > [激しいトランプ批判のコーエン議会証言——大統領の偽証追及どこまで](#)
- > [旧ソ連並みの経済崩壊はベネズエラ現政権の失政](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINE LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

FAQ

編集長プロフィール

利用規約

利用案内

プライバシーポリシー

著作権について

特定商取引法に基づく表示

メーカーソクラ

お問い合わせ

お知らせ一覧

コラムニストプロフィール

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved